

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入] 新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
受託者名	特定非営利活動法人みえきた市民活動センター	
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
受託金額	2,500,000円	
受託内容	<p>管内NPOと連携して、「小さな市民活動応援基金を作る会」を立ち上げ、NPOに対する寄付金を集めるインフラを整備する。また、ITを活用して市民活動を身近に感じてもらえるように、地域に情報発信をおこなう。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果 基金の中心となる人たちの集まりを確立する。</p>	
得られた成果 及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>一連のさまざまな取り組みの案内と報告とを、CANPAN ブログ、Facebook、Twitter、地域内から全国までの各種のメーリングリストを使って、速やかにデジタル情報発信した。一方で、地域メディアの応援やまちのかわらばんの手配りという face to face のアナログ発信も重ねてきた。地域の内外から、ささやかではあるけれどさまざまな認知のサインが伝わってくる。三重県条例指定認定NPO法人化要件の方向もふまえ、身近で小さな「市民活動応援☆きらきら基金」を大切に思って、いっしょに創っていこうとする人たちが少しずつ増えていく気運が醸成されつつある。</p>	
	評価ラ ンク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に○を付けてください。)

2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。

様式4-5

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
受託者名	四日市NPOセクター会議	
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
受託金額	3,933,200円	
受託内容	<p>資金を循環させる「市民活動ファンド」、人的資源を循環させる「人材ポケット」、物的資源を循環させる「モノバンク」の3で構成される、官民連携による市民活動への資源循環の仕組みを構築する。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果</p> <p>①ファンドレイジング交流会等によるファンド原資獲得</p> <p>②不用品・遊休地等の物件登録</p>	
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>幅広い分野（県・市、企業、商工団体、地域密着型メディア（ケーブルテレビ、エフエム放送、各戸配布型月刊紙）、自治会、社会福祉協議会、労働組合、NPO、大学）から企画委員会を立ち上げ（名簿別紙参照）、2回の会議において市民活動サポートバンク（SSB）の基本コンセプトについて熱心な討議を行った。この結果「基本コンセプトの市民への広報が第一」との合意に至り、ホームページ、パンフレット、DVDなどの制作を急ぐことになり、それぞれ準備に着手し、作成業者も決定した（作成業者も企画委員会に参加する予定）。また委員でもある地元ケーブルテレビが、準備段階からSSBを積極的に広報していくことになった（2/14放送）。四日市市では、実施中の「まちづくり協働委員会」の平成23年度報告書に、「市民活動サポートバンクの仕組みを検討中」であることが書き込まれた。ファンド原資獲得、不用品等登録の取り組みも始めており、既に原資の一部が確保されたほか、パソコン20台確保などの成果が上がっている。目標とする原資を獲得するためにも、寄付者が税の優遇措置が受けられる体制を整えることが必要であり、認定NPO法人等の体制整備を急ぐ予定であるが、広報媒体の充実と企画委員会での協議により、今後順調に進むことが予想される。</p>	
評価ランク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に『』を付けてください。)	

2. 添付書類 委員名簿

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。

様式4-5

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入] 新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
受託者名	特定非営利活動法人市民ネットワークすずかのぶどう	
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
受託金額	1,346,400円	
受託内容	<p>団体が活動する場を提供し、団体間の交流を深めることでネットワークを築き、それらの団体の活動が活発になるように支援する。また、各団体に訪問、交流して団体情報を把握し、ネットワークに繋げるためのデータベースを作成する。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果 新規雇用人材育成を図り、当団体活動把握、ジャンルごとの中間支援団体を紹介し、自主的に訪問・交流が出来るようにする。またIT支援補助機会を与えてITリーダーとして自立できるようにする。その成果をもとに次年度のデータベース作成、亀山市・鈴鹿市への提言に結びつけることができる。</p>	
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>人材に恵まれ順調に推移した。支援組織のネットワークを目指す訪問では、鈴鹿市社会福祉協議会地域グループと定期的に情報交換することとなり既に始まった。賛助団体活動支援の参加については、イベント・講座に積極的に参加した。またIT支援補助に関しては、補助の他に独立して相談業務・講座講師を担当した。</p>	
評価ランク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に○を付けてください。)	

2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。

様式4-5

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
受託者名	特定非営利活動法人津市NPOサポートセンター	
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
受託金額	2,600,000円	
受託内容	<p>NPO専門雑誌を発行し、イベント情報、ボランティア情報、企業CSR、協働に関する情報、寄付・助成金情報など、人・金・情報が雑誌を通じて循環するきっかけを生むように取り組む。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果 実行委員会にて雑誌の内容を固め、見本誌を作成し、販売可能店舗を10店舗確保します。</p>	
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>平成24年度は、見本誌を作成して販売協力店を探す計画であったが、学生、企業、行政、フリーランス、NPOで形成された検討会にて、より良い資源循環を行うために「雑誌を無料配布して1人でも多くの人に見てもらおう」「雑誌単体ではなく、コミュニティバンク等と連携して情報と資金の循環を目指す」「世代別にアプローチする媒体を変えて多くの人を巻き込む」「地域活動に関わっていない人を巻き込むために“オシャレ”“面白い”等のキーワードを意識する」といった意見を得ることができ、次年度のより良い雑誌の作成に繋げることができました。</p>	
	評価ランク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に○を付けてください。)

2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。

様式4-5

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
受託者名	特定非営利活動法人Mブリッジ	
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
受託金額	2,000,000円	
受託内容	<p>認定取得を目指すNPO法人の制度改正への理解、その他地域での活動を支援する。そのために、松阪管内のNPO法人に向けて制度に関するアンケートを実施し、ファンドレイジングのキーパーソンとなりうる人材を抽出する。その後、キーパーソンとの間で勉強会、講座、相談などを通じて、地域での活動の幅を広げていく。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内の全NPO法人を対象としたアンケート調査の実施 アンケート調査の結果を受けて抽出した団体へのヒアリング調査の実施 アンケート及びヒアリング調査の実施報告書の製本・印刷 	
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>NPO法人にとってファンドレイジング(資金調達)は、法人のミッションを達成するために重要な業務(責務)です。今年度はこの業務を支援するため、法人調査およびヒアリングを行い、そして、日本のファンドレイジングに関する最先端のセミナー「FRJ2012」に参加いたしました。その結果、地域で活動するNPO法人の現状および課題等が把握できたことや、セミナーによりこの地域における支援メニューを修正できたことは、今年度の成果と言えます。</p>	
評価ランク	<input checked="" type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に○を付けてください。)	

2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。

様式4-5

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入] 新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
受託者名	特定非営利活動法人Mブリッジ	
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
受託金額	1,190,000円	
受託内容	<p>企業とNPOが一緒になり、一般県民に向けた「社会広報誌」という広報誌を刊行する。その中で企業とNPOの活動をまとめ、それぞれの活動を伝わりやすくする。また、この広報誌をポスティングする協力者を募りつつ、活動の認知度を上げていく。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会広報紙という新しいスタイルの理解者、参画者を増加 ・多様な主体が関わり合える仕組みを構築 	
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>公共的な広報を新しく取り進めることを目的としたこの事業は、まずその意義や目的を関係者と共有する基盤作りが大切であることを改めて感じた。それに向けての意見交換等は24年度に向けて大きなヒントを得られたと感じる。その成果を最大限に活用し今後の制作物へ反映させていくこととする。自己評価としては一定の成果が得られたと考える。</p>	
	評価ランク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に○を付けてください。)

2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入] 新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)
受託者名	特定非営利活動法人いせコンビニネット
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日
受託金額	2,684,330円
受託内容	<p>①リユースパソコン地域循環化プロジェクト(企業からNPOへの中古パソコンの寄贈推進)</p> <p>②志摩地域中間支援組織基礎調査プロジェクト(志摩地域を中心とした中間支援機能強化)</p> <p>③NPO法・税制改正啓発プロジェクト の3つの柱による事業を実施する。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果</p> <p>①パソコンの寄贈プログラムを三重県版にするために、払い下げしてもらえる企業や行政の確保</p> <p>②志摩地域の団体に訪問してデータの蓄積</p> <p>③NPO法・税制改正のための情報収集</p>
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>成果1、これまで各地域で個別に実施していたリユースPC寄贈プログラムを三重県全体とすることができた。</p> <p>成果2、各地域でリユースPC寄贈プログラムに賛同し参加してもらった団体数が22年度は、当法人を含めて6団体だったものが、23年度には7団体となった。</p> <p>成果3、3月24日に行った寄贈式&交流会では、共催に大塚商会、トレンドマイクロ、日本マイクロソフト、ブラザー販売、後援に、総務省(セキユリティすごろく「セキユろく」)、三重県、伊勢市、松阪市、伊賀市、津市、名張市、四日市市が参画してもらうこととなり、新聞報道なども行われた。</p> <p>1、リユースPC寄贈地域循環化プロジェクト(広域事業): 成果:10月～3月まで実施、結果三重県内のパソコン払い下げ企業確保数 8社 三重県内でパソコンを提供してもらえる企業はある程度確保できたものの、小規模の企業であるため、機種もバラバラで確保できるパソコンの時期もバラバラで、まとまった台数を確保できないため、三重県内や東北に生産協力事業所を作っても、</p>

	<p>OS等の再インストール作業を行うことが障がい者等に行ってもらうには困難な事態が想定される。一部パソコンを首都圏中心とした企業から提供してもらうことに改善する。また、パソコンを提供してもらえる企業の確保は、引き続き24年度も継続していくこととする。</p> <p>2、志摩地域中間支援組織基盤整備プロジェクト(南勢志摩県民センター管内事業) 成果：10月から3月まで実施、結果61団体の調査を終了 初年度は、多くの団体の調査を行うというより、交流会を開催するというを通じながら、調査を行う形を取り、より組織化、よりネットワークの強化を図りながら調査を進めている。 ※志摩市民活動通信 SANPO の自主性を尊重しながら、当法人で管理し事業実施を行っていく。最終的に、志摩地域の中間支援組織の強化が成果と考えている。</p> <p>3、NPO法・税制改正啓発プロジェクト(南勢志摩県民センター管内事業) 成果：2回のセミナーに参加(内容：①新NPO会計基準、②認定NPO法人申請セミナー)、10月～3月までHP等より情報収集といせ市民活動センターのHP等で発信 とくに大きな変更点はないが、23年度に別事業で調査を行ったNPO法人についても、当法人と顔の見える関係が構築できたので、24年度以降は、これらのNPO法人に対しても講座の案内、訪問を行っていくこととする。</p>
評価リンク	<p><input type="checkbox"/>S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/>A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/>B：一定の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/>C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/>D：成果が得られなかった (該当する評価に『』を付けてください。)</p>

2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)
受託者名	特定非営利活動法人なばり NPO センター
実施期間	平成23年10月 1日～平成24年3月31日
受託金額	3,500,000円
受託内容	<p>NPOや市民のために、NPOの活動や寄付税制についての講座やイベントを開く。それらを通じて、NPOの寄付の獲得、NPOや中間支援組織の認識化の促進、多様な主体との協働などを目指し、事業規模を拡大していく。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果 講座各種5種実施 FM放送実施 寄付システムの完成</p>
得られた成果及び自己評価	<p>講座各種5種実施・・・達成予定 FM放送実施・・・実施中 寄付システムの完成・・・検討中</p> <p>■達成しようとする成果を測る具体的な指標 項目①(講座延参加者) 目標値(100人) / 実績値(200人) 項目②(企業参加) 目標値(10社) / 実績値(3社) 項目③(寄付金獲得) 目標値(50万円) / 実績値(30万円)</p> <p>■成果指標の達成状況 および事業の効果 NPO法改定 NPO税制改正や寄附講座など、予想外に関心が無いことに唖然としている。NPO関係者も、寄付金獲得講座等とても関心があると思っていたのに、参加者は少なかった。(10名まで)。ワールドカフェなどについては、前回以上の参加があり、「プラットフォーム」的な場を求めている市民がいることは確認できた。今後どのような支援が必要なのか検討中。</p> <p>■改善点 事業計画に変更はないが、もう少し広報宣伝活動を考えて取り組んで行きたい。また、伊賀市内の各地で行う事業に際しては、地縁団体との協力協働を行い、現場のニーズに沿った取り組みを行って行きたい。その為に、地域のコアのメンバーと事前の打ち合わせを行い、実行に向けて準備をしたい。 また、伊賀市のまちづくり推進課の人たちとも意見交換を行い、地域でのニーズ</p>

	を捕まえる努力をしていきたい。	
評価ラ ンク	<input type="checkbox"/> S : 特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A : 優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B : 一定の成果 が得られた <input type="checkbox"/> C : 限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D : 成果が得られなかった (該当する評価に『』を付けてください。)	

2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)
受託者名	東紀州コミュニティデザイン
実施期間	平成23年10月1日から平成24年3月31日
受託金額	1,362,000円
受託内容	<p>現在、東紀州での市民団体の繋がりが不十分なため、4つの事業部（コミュニティカフェ事業部、キタガワノホトリ事業部、防災・減災事業部、中間支援事業部）を創設し、各分野ごとに連携、ネットワーク化を促進する。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果 4つの事業部の焦らない遂行、キタガワノホトリ事業部では、活動拠点としての充実度アップ</p>
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>東紀州コミュニティデザインの活動自体は、2005年9月からであり、消滅せずに残っているだけの意義や意味はあると感じている。中間支援の必要性は、NPO法人みえNPOネットワークセンターや、NPO法人みえ防災市民会議への参画など、県内外からも求められているが、肝心の地元からの要望や周知には、まだまだ至っていないと感じている。今後は、さらなる行政との協働も不可欠である。</p> <p>民設民営であることが、継続には大きな不安材料であり、キタガワノホトリを中心とした収益事業の展開が必須課題である。また、雇用できる体制を敷いても、雇用されたい人がなかなか見つからない人材不安・不足も懸念材料である。この辺りの改善が出来れば、事業が大きく推進する機動力になるので、受託期間中に進展させたい課題である。</p> <p>ただし、4つの事業部を展開することで、得られた成果も多いと感じており、第1は、多くの人との交流による人的ネットワークの拡大が挙げられる。これを収益に結びつけることが課題であるが、最終的には地元を支えらる仕組みづくりだと感じている。第2は、キタガワノホトリという活動拠点を持っていることで、この維持には多額の賃貸料も必要であるが、これを賄えるだけの収益が見込めたこ</p>

	<p>とである。しかし、運営するスタッフの人件費までには至っていないので、受託期間中に実現したい。キタガワノホトリの利用率が向上すれば、この点は改善されてくるので、さらなる知恵を絞らないとならない。</p>	
	<p>評価ランク</p>	<p> <input type="checkbox"/> S : 特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A : 優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B : 一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C : 限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D : 成果が得られなかった (該当する評価に□ を付けてください。) </p>

2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。